

ビジネス研究科

ビジネス専攻
グローバル経営研究専攻



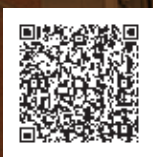
次代を担う
優れたビジネスリーダーの
育成を目指す。

ビジネス研究科（同志社ビジネススクール DBS）とは

同志社ビジネススクール(DBS)では、ビジネススクールとしての基本は踏まえつつも、サステナビリティ時代の要請に応える、世界的にもユニークなMBAプログラムを、歴史ある京都の地から、日本語・英語で展開しています。

同志社ビジネススクールには、主にわが国の社会人向けに日本語での授業を行う「ビジネス専攻」と英語での講義により主に世界各国からの外国人学生を受け入れる「グローバル経営研究専攻」の2つが設置されています。教育の特色は、同志社大学の建学の精神である「良心教育」に立脚し、また「京都」を意識したビジネス教育であることです。「京都」は、長寿企業、サステナブル企業の集積地として、世界的に突出した、きわめてユニークな文化を持つ都市です。そして「良心」や「京都」は、現在グローバル社会の希求するサステナビリティや人間の尊厳を重視する経営につながります。

同志社ビジネススクールでは、ただ単に優れたビジネススキルの取得だけではなく、より良い社会を作る「責任」感を持ち、「イノベーション」を起こす、優れた「リーダーシップ」をラーニング・ゴールとして掲げて教育を行っています。上に述べた同志社ビジネススクールの特色は、カリキュラムにも反映され、特にビジネス専攻では、「中小企業経営」と「イノベーション」を、グローバル経営研究専攻では、「サステナビリティ」、「文化と創造性」、「アジアのビジネス」を特徴とする科目群が、その他の様々な先進的な科目とともに用意されています。



▲
アドミッション・ポリシー



▲
詳細は Web へ

神学研究科

文学研究科

社会学研究科

法学研究科

経済学研究科

商学研究科

総合政策科学
研究科

文化情報学
研究科

理工学研究科

生命医科学
研究科

スポーツ健康
科学研究科

心理学研究科

グローバル・
スタディズ研究科

脳科学研究科

司法研究科
(法科大学院)

ビジネス研究科
ビジネススクール

ビジネス専攻

有井 健 教授

- ①自然保護、環境保全
- ②自然環境保全地域に関する研究、里地里山の保全と利活用に関する研究
- ③共著 State of Coral Reefs Management Case Study of Okinawa Island, Japan, Journal of International Business Research, 2012, 11(3), 25-35.

Philippe BYOSIERE 教授

- ① Innovative Leadership, Knowledge in Organizations, Stress in Organizations

崔 裕真 教授

- ①イノベーション、経営戦略
- ②京都の企業、伝統産業のイノベーションと国際経営戦略の研究
- ③①共著 Dr Kazuo Inamori's Management Praxis and Philosophy, Palgrave Macmillan, 2022 ②共著「明治のアントレプレナー 臥雲辰致の再発見」『臥雲辰致・日本独創のガラ紡』シンプリブックス, 2017 ③共著「中小企業に問われるアントレプレナーシップ」『中小企業のための技術経営MOT入門』同友館, 2015

藤原 浩一 教授

- ①企業価値の戦略的マネジメントをデータサイエンス、金融工学の観点から研究

井上 福子 教授

- ①人的資源管理、リーダーシップ、組織変革
- ②価値を生む人的資源管理の在り方、組織のデザイン、人々のキャリア形成、リーダーシップの在り方について、幅広く研究している。
- ③「組織変革への言語論的アプローチとしてのセンスギビング」『日本情報経営学会誌』2014, 35(1), 96-106.

加登 豊 教授

- ①管理会計、コストマネジメント、管理システム
- ②管理システム管理会計のレゾンデートル(存在理由): 明確な定義や対象とする領域を特定することなく、研究は拡散的に行われており、何をもち「管理会計」とするかについての研究者間、加えて、経営実践者間での同意が得られていない。このような現状からの脱却を目指すために必要な考察を行っている。
- ③「再び「管理会計のレゾンデートル」について」『管理会計学』2022, 30(2), 3-20.

河南 順一 教授

- ①マーケティング・コミュニケーション
- ②ディストラクション時代でのマーケティング・コミュニケーションの変革
- ③「Think Disruption アップルで学んだ「破壊的イノベーション」の再現性」KADOKAWA, 2020

児玉 俊洋 教授

- ①中小企業と産業集積に注目したイノベーション創出の仕組み
- ②自社製品の売上げがある中小企業として定義した「製品開発型中小企業」にイノベーションの担い手として注目している。産業クラスター推進機関であるTAMA産業活性化協会の協力を得て製品開発型中小企業と産業集積によるイノベーション創出機能について研究している。
- ③①「大学発ベンチャー事業化のための資源配分行動—大学連携型インキュベーション施設入居企業から得られた定量的データ—」『日本ベンチャー学会誌 Venture Review』2022, 39, 95-99. ②「オープンイノベーションにおけるニーズ情報開示問題—TAMA協会の実績に見る解決策の可能性—」『日本ベンチャー学会誌 Venture Review』2017, 30, 35-49.

森 良弘 教授

- ①イノベーションマネジメント全般、特に技術者の心理特性
- ②心理学的な要因が技術者の判断に及ぼす影響とその制御方法に関する研究
- ③共著「新技術に対する技術者の認知バイアスに関する研究」『BMAジャーナル』2021, 21(1), 15-29.

文 世一 教授

- ①公共交通の設計と都市の空間構造
- ②バスや鉄道のような公共交通の整備が自動車依存を減らし、都市のコンパクト化に貢献するか否かを理論的に分析する。また交通システムの最適設計の条件を明らかにする。
- ③共著『都市経済学の基礎』有斐閣, 2000

野瀬 義明 教授

- ①コーポレートファイナンスに関する実証研究
- ②企業を取り巻く資金が効率よく行き届き、活用される方法について、理論家が提案するモデルへ実際のデータを当てはめることで分析・検証している。
- ③『日本のパイアウト・ファンド』中央経済社, 2022

山下 貴子 教授

- ①企業のマーケティング戦略と消費者行動
- ②次世代金融マーケティング戦略と消費者の金融リテラシーの階層別対応との関係に関する研究
- ③共著「交互作用効果を考慮したコウホート分析法による米国家計金融資産選択行動」『ファイナンシャル・プランニング研究』2017, 17, 72-85.

グローバル経営研究専攻

Robert W. ASPINALL 教授

- ①日本と英国における政治と教育
- ②社会階級とジェンダーの役割の再生産に焦点を当てて、イギリスと日本の男子中等学校を比較します。
- ③① International Education Policy in Japan in an Age of Globalisation and Risk, Brill, 2013 ② Teachers Unions and the Politics of Education in Japan, SUNY, 2001

Isabell HANDLER 准教授

- ① Sustainable Tourism, Travel Behavior, Tourism Policy Management, Cultural Tourism

飯塚 まり 教授

- ①経営戦略と組織、ビジネス倫理
- ②日本文化の中のウェルビーイング、ウェルビーイング経営、サステナビリティ経営
- ③共著『進化するマインドフルネス: ウェルビーイングへと続く道』創元社, 2018

和泉 真澄 教授

- ①国際人口移動、北米史、法と市民的自由
- ②アメリカ・カナダの日系人強制収容、北米社会の人種関係、戦争と法と自由の関係など
- ③①共著『私たちが声を上げるとき—アメリカを変えた10の問い』集英社新書, 2022 ②『日系カナダ人の移動と運動』小鳥遊書房, 2020 ③『日系アメリカ人強制収容と緊急拘禁法』明石書店, 2009

奥平 寛子 准教授

- ①労働市場に関するデータ分析
- ②政府のミクロ統計・経済実験・企業人事データを使って、労働市場政策に関するデータ分析をしている。扱うテーマは、新卒採用・最低賃金・ジェンダーなど。
- ③①共著 Working from home and productivity under the COVID-19 pandemic: Using survey data of four manufacturing firms, PLOS ONE, 2021, 16(12), e0261761-e0261761 ②共著 Oxytocin-Trust Link in Oxytocin-Sensitive Participants and Those Without Autistic Traits, Front Neurosci, 2021, 15, 659737. ③ Regulating the timing of job search: evidence from the labor market for new college graduates, Labour Economics, 2020, 67, 101941-101941.

須貝 フィリップ 教授

- ① Sustainable Marketing, Value Co-Creation

殷 勇 教授

- ①持続可能生産システム、ものづくり経営学、経営定量分析
- ②最先端のAI技術や定量ツールを活用した研究を行っています。これらを経営学やIndustry 4.0に応用することで、より高度な知識と洞察力を得ることができます。私たちは、これらのツールを活用して、経営において最適な戦略を提案することができます。
- ③① The evolution of production systems from Industry 2.0 through Industry 4.0, International Journal of Production Research, 2018, 56(1-2), 848-861. ② Lessons from seru production on manufacturing competitively in a high cost environment, Journal of Operations Management, 2017, 49, 67-76.

吉田 悦章 教授

- ①国際金融論、フィンテック、イスラーム金融/ビジネスとSDGs経営、新興国事業戦略
- ②金融・経済・経営の新興分野に関するオーソドクシーからの研究
- ③ FinTech-Enabled Cash Waqf: Effective Intermediary of Social Finance, Springer, 2019, (I), 43-58.

寄付教育研究プロジェクト

沖 勝登志 教授(チェア・プロフェッサー)

- ①先端技術産業におけるイノベーション戦略
- ②過去50年以上、半導体の微細化が進展・継続する中で、IoT、人工知能分析の商業化、自動運転に向けた技術進化等による新しいビジネスの創造をイノベーション戦略の観点から研究、考察。

ミッション

同志社大学建学の精神である良心教育と京都に生まれた伝統と革新の知恵に基づき、人間の尊厳を尊重し、企業や組織の成長を担えるリーダーシップを備えた人物を養成する

ラーニング・ゴール(Learning Goals)

- ・ 責任ある経営 (Responsible)
- ・ 革新 (Innovative)
- ・ リーダーシップ (Leadership)

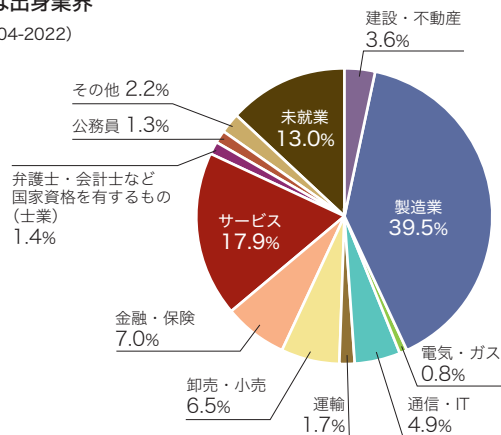
ビジネス専攻

ビジネス専攻には様々な業界出身の社会人学生が集う



主な出身業界

(2004-2022)



グローバル経営研究専攻

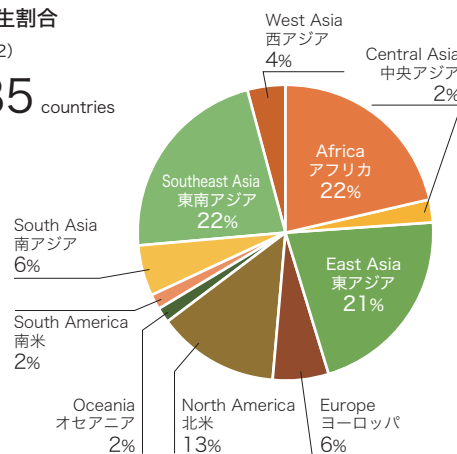
グローバル経営研究専攻には全世界出身の国際学生が集う



地域別学生割合

(2009-2022)

出身国 **85** countries



TOPICS 多様性が花咲く処

地球と地域が出会う場所。それが同志社ビジネススクール(DBS)です。地域に根差した創造性あふれる人々が、グローバルな舞台の上で活躍するためのシナリオを描く。DBSはそのような知的活動のための作業現場です。

独自の地域性を持つ人々が、地球の津々浦々からDBSに集まっています。日本のあちこちから、そして、世界のあちこちから。

多様性と包摂性が出会う場所。これもまたDBSです。グローバル大企業の幹部候補生、中小企業の経営者、伝統産業の存続と新生を担うクリエイターやベンチャー・ビジネスの起業家たち。背景も体験も全く異なる人々が、様々な発想や行動原理を持ち寄り、分かり合う。この絶妙なプロセスが、DBSの日常です。多様性と包摂性が出会う時こそ、人間の視野がもっとも大局的で解放的になります。歴史の地、京都において、DBSは、常にこのような空間であることを目指しています。